

## CPC 課題レポート

2023 年 7 月 19 日（水） 第 1400 回 CPC

92 番 岡野雄士

### 課題

1. 剖検が必要と考えられた根拠となった、臨床的な問題点を箇条書きで記しなさい。

- 大動脈弁の人工弁開放障害の原因
- TAVI 後に両側膿胸の既往があり、大動脈弁を含めて感染を示唆する所見はあるか？
- 大動脈弁狭窄症をベースとした心不全に伴う心臓の変化
- 心不全による心臓以外の臓器の変化

2. 病理解剖で認められた主要な所見を、箇条書きで記しなさい。

- 大動脈弁狭窄症・経カテーテル大動脈弁留置術後の状態
  - － 人工弁狭窄・閉鎖不全状態
    - \* 人工弁の石灰化による可動性の低下
    - \* 感染所見・肉芽組織・血栓は見られなかった
  - － 関連病変
    - \* 求心性心肥大（左室 539 g; 左室壁厚 1.8 cm）
    - \* 心線維化軽度
    - \* 諸臓器鬱血（肝臓 1206 g・腎臓 162; 167 g・脾臓 196 g）
- 大動脈粥状硬化症
- 誤嚥
- 左肺下葉・両側胸膜癒着
- 小葉中心性肺気腫
- ヘモジデロシス（肝臓・脾臓）
- 結腸憩室（上行～下行結腸・多発）

3. 臨床的な問題点が病理解剖によりどのように解決したか、文章で説明しなさい。

大動脈弁の人工弁開放障害の原因としては、石灰化による可動性の低下が考えられる。感染所見については全身諸臓器において確認されなかった。人工弁においても感染・血栓組織は見られず、生来の弁と同様に石灰化による硬化がみられるのみであった。心不全に伴う心臓の変化としては、狭心症によ

る後負荷の増大によって左室の求心性心肥大並びに軽度の線維化が生じたと考えられる。また、領域性の虚血性変化は見られなかった。心不全による心臓以外の臓器の変化としては、諸臓器（肝臓・肺・脾臓）に鬱血が見られた。また、臓器の虚血性変化は見られなかった。

**4. 本症例が死に至った病態について、自分が理解した内容を文章で説明しなさい。**

大動脈弁狭窄症ならびに大動脈粥状硬化症・冠動脈粥状硬化症によってきたした高血圧症、そしてカテーテル治療後の人工弁硬化により閉鎖不全状態・狭窄状態をきたすなどの複合的な理由により求心性心肥大・軽度線維化を来したと考えられる。さらに、閉鎖不全状態・狭窄状態から心不全に至り、諸臓器鬱血を来しつつ、死に至ったと考えられる。なお、膿胸については剖検時に感染所見が見られなかったものの、両側胸膜の癒着の原因となったと考えられる。